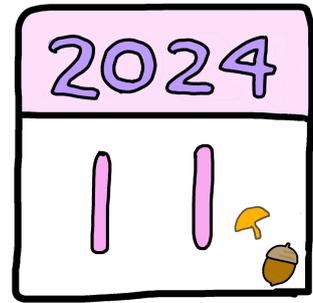


しまけんだよ

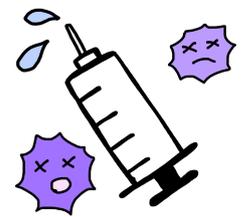


令和6年11月

武庫川女子大学附属中学校・高等学校

11月7日は「立冬」です。木枯らしが吹いて木々の葉を落とし、冬の足音が聞こえ始めました。そろそろ冬支度を始める時期ですね。寒くなってくると特に水を使う手洗いや歯みがきなどは、早く終わらせようという加減になってしまいがちですが、そういうときこそ意識して丁寧にしましょう。冬服や暖房器具を準備するだけでなく、健康への意識も冬用に切り替えていきましょう。

インフルエンザ ワクチン接種(任意)



今年もインフルエンザワクチンの予約が始まっています。インフルエンザワクチンは任意接種となるため、接種するかどうかは各家庭のご判断になります。

ワクチンを打てば
インフルエンザに
かからない?

ワクチンを打ってもインフルエンザにかかることがあります。インフルエンザウイルスが口や鼻あるいは目の粘膜から体の中に入り、細胞に侵入して増殖します。この状態を「感染」といいます。現行のワクチンは感染を完全に抑える働きはありません。ウイルスが増え、発熱やのどの痛み等のインフルエンザの症状が出現します。この状態を「発病」といいます。ワクチンには、この「発病」を抑える効果が一定程度認められています。また、肺炎やインフルエンザ脳症などの重症化を予防する効果が認められています。

いつごろ
打ったらいい?

ワクチンの効果は、接種後2週間から5か月程度とされています。例年日本ではインフルエンザは12月頃から流行することが多いので、11月半ばには接種するのが理想です。

受験生や、部活動などで大会や発表などを控えている人は、ワクチンの効果が現れる時期を考えて早めに接種の計画を立てましょう。

武庫女中高の

昨年度は

昨年度
インフルエンザ
335人

インフルエンザによる
学系閉鎖
10回

「フルミスト」ってどうなの？

10月から接種できるようになったインフルエンザワクチン「フルミスト」はスプレーを鼻の中に入れ、吹きつけるタイプのワクチンです。従来の注射タイプのワクチンと同じ程度の効果があるとされています。

「フルミスト」の特徴

- 接種対象は2歳から18歳
- 接種回数はシーズンごとに1回
- 毒性の弱いウイルスを使った「生ワクチン」で、まれに接種後インフルエンザを発症することがあり、人にうつすこともある
- 生ワクチンのため妊娠中の人や免疫不全の人などはフルミストを使わず注射するタイプのワクチンのみを使うよう推奨
- 授乳中の人や、周囲に免疫不全の患者がいる場合も注射するタイプのワクチンを推奨
- 喘息の人はフルミスト接種後に副反応で「喘鳴」が起こる可能性があるため注射するタイプのワクチンを推奨



インフルエンザ出席停止早見表 登校可能=○

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発熱	解熱	×	×	×	×	○		
発熱	発熱	解熱	×	×	×	○		
発熱	発熱	発熱	解熱	×	×	○		
発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	×	×	○	
発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	×	×	○

解熱とは解熱剤を使用せずに解熱していること

インフルエンザに罹患した場合、学校保健安全法施行規則第19条に基づき、欠席した日が出席停止となります。出席停止期間は、「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」です。※登校する際には『学校感染症報告書』の提出が必要です。受診した際に医師から受けた指示を保護者等が記入・押印していただくものです。本校ホームページからダウンロード可能です。

